

自主防災組織を作ろう

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚・連帯感に基づき、自治会など、地域で生活環境を共有している住民などにより自主的に結成する組織で、災害被害を予防し、軽減するための活動を行う組織です。

市は、行政区毎の設置をお願いしており、1月末の組織率は、44区中の34区(77・2%)の設立となっています。

公助、自助、共助とは

大規模災害発生時に被害の拡大を防ぐには、国・県・市の対応(公助)だけでは限界があります。

自分の身は自分で守ること(自助)、日頃から顔を合わせている隣近所の方々や地域住民が、相互協力して防災に組織的に取り組むこと(共助)が大切です。

この公助、自助、共助が、有機

的につながることで被害を軽減でき、その後の復旧・復興も早まります。

《自主防災組織の利点》

- ①即応性：直ぐに対応できる。
- ②連帯性：地域ぐるみで組織的な活動が展開できる。
- ③日常性：日常のつながりの中で活動できる。
- ④密着性：避難行動要支援者などの情報をもっている。

防災訓練

防災訓練は、大別すると①個別訓練と②総合訓練(体験イベント型や図上訓練を含む)があります。

- ①個別訓練は、参加者一人ひとりの対応力を高めるための訓練で、情報収集・伝達訓練、消火訓練、救出・救護訓練、避難訓練、避難所運営訓練などがあります。
- ②総合訓練は、個別訓練を二つ以上組み合わせ総合的に実施する訓練で、例えば発災から避難、救助までの一連の動きを参加者全体で行います。

昨年は、ハザードマップのリスクに対応した総合訓練を行った自治会が多く、地域の皆

さんが多数参加していました。これらの訓練に対し、企画・助言することができそうですので、お気軽にお問い合わせください。

防災について知ろう

防災に関する情報提供の一つとして、年間を通じ出前講座「市民防災講座」を開催しています。

主に、「自然災害とその対策」について、災害に対する基本的

なこと、日頃の準備、自主防災組織、ハザードマップの見かたなど分かりやすい内容を心がけて開催しています。

これまで、自治会だけでなく、学童保育所の児童、大学生、育児中の保護者、老人クラブなど、多くの人に、講話を聴いていただきました。

今後も、講座を通して、防災に関する知識だけでなく、食料の備蓄や早めの避難など、災害に対する備えを市民の多くの

皆さんに浸透していただければと考えています。

年々、多発かつ激甚化する自然災害に対し、「自助」、「共助」が、地域の強い防災力になり被害を少しでも抑えることができます。

災害から、自分の命・生活を守るため、災害と防災について知識を高めましょう。

市民防災講座の申し込みは、市役所防災安全課までご連絡ください。(☎内線531)



消火訓練(つつじヶ丘区)



市民防災講座(吉松区)